

令和4年度まち・ひと・しごと創生寄附活用事業評価・外部評価結果について

1. 外部評価の目的

市で実施した内部評価の妥当性を、専門的な見地や市民の目線から検証することで、客観性を確保するとともに、必要に応じて総合戦略の見直しや次年度の取組み内容への反映を行う。

2. 評価対象及び実施方法

令和4年度に実施した「まち・ひと・しごと創生寄附活用事業」について、市で実施した内部評価に対し、河内長野市行財政評価委員会において外部評価を行った。

3. 評価方法

市内部で行った評価資料に基づき、事業の目標を達成するために評価年度に実施した取り組みが効果的であったか、および今後の方向性が適切かどうかの観点で検証を行い、「**妥当**」、「**概ね妥当**」、「**要検討**」のいずれかに分類する。

4. 評価結果

別紙「令和4年度まち・ひと・しごと創生寄附活用事業評価・外部評価結果」のとおり

令和4年度まち・ひと・しごと創生寄附活用事業評価・外部評価結果

■事業の概要

事業名称	河内長野市まち・ひと・しごと創生寄附活用事業
事業の目標・概要	<p>【目標】 企業版ふるさと納税を活用した事業を実施することにより、河内長野市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進を図る。</p> <p>【寄附を活用して実施した事業】</p> <p>1. サッカーチームと連携したまちの魅力向上事業 市内南花台地区では、少子高齢化の進む開発団地の再生モデル構築として、「南花台スマートエイジング・シティ 団地再生モデル事業」に取り組んでいる。 この一環として、同地区内でUR都市機構が進める集約型団地再生事業により生まれる跡地に女子サッカーチームの本拠地を誘致し、チームと連携することによる地域の活性化を図る。</p> <p>2. 林道整備事業 市管理の基幹林道であり、地区林業の基幹であるとともに、緊急輸送路としての役割も担っている林道千石谷線外1線の整備を実施する。</p> <p>3. 公共交通推進事業 本市と包括連携協定を締結している南海電気鉄道（株）との連携により企業版ふるさと納税（人材派遣型）を受入れ、公共交通推進に係る各種業務を推進し、地域の実態に応じた交通ネットワークの整備や、市民の生活利便性確保を図る。</p>

■市評価結果(各要素事業別)

要素事業①	サッカーチームと連携したまちの魅力向上事業
評価区分(※1)	評価内容
②相当程度効果があった	<p>○企業と連携することにより、市の実質負担なくハード整備が実施可能となる。</p> <p>○企業版ふるさと納税を活用することで、多くの企業と接点生まれ、今後のプロジェクトにおける参画が期待できる。</p> <p>○企業版ふるさと納税を活用した取り組みとして注目度が高く、事業自体の周知に貢献している。</p> <p>※令和5年度までは、寄附金の事業費への充当（サッカースタジアム建設）は行われないことから、上記評価は、サッカースタジアム建設についてではなく、「企業版ふるさと納税の活用」についての効果を記載しています。</p>
要素事業②	林道整備事業
評価区分(※1)	評価内容
②相当程度効果があった	<p>○当初予算上の千石谷舗装予定延長は70mであったところ、寄附金の活用により2.5mの量的充実が図れた。</p> <p>○寄附事業者は、林業振興に意識の高い事業者であり、同社と協議し、思いを反映した寄附金の活用を行ったことで、同社との継続的な連携にも繋がっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度も、同社より同様の趣旨・金額で寄附を受け入れ ・附属機関「かわちながの森林プラン推進協議会」に同社代表が委員に就任（令和4年度より） ・同社については、森林整備地域活動支援事業補助金により森林経営計画策定に向けて取り組みがなされた。
要素事業③	公共交通推進事業
評価区分(※1)	評価内容
①非常に効果的であった	<p>○モックルMaaSの実装、運用については、庁内関係部局との協議のみならず、交通事業者や協力事業者との調整が必要であり、交通事業者からの派遣人材知識やノウハウを活用することができて、非常に効果的であった。</p> <p>○地域公共交通計画については、交通事業者としての知識やノウハウを活用することができて、非常に効果的であった。</p> <p>○公共交通ネットワークの再構築について、R4年度に実施した石見川地区の地域の検討会や、スクールバスと乗合タクシーの一体的な運用をするスキーム作りにおいて、派遣人材の持つ、行政とは異なる知見を活かし、事業を進めることができた。</p>

※1：評価事業の目標・KPI達成に「①非常に効果的であった」、「②相当程度効果があった」、「③効果があった」、「④効果がなかった」

■委員会評価(※2)

評価区分(※3)	意見・コメント
①妥当	<ul style="list-style-type: none"> ・評価は妥当で異存はない。 ・専門技術を持った人材を、企業から市へ派遣してもらうのは良いこと。 ・サッカーチームのプロジェクトによって、人口が増えるかもしれない。 ・サッカースタジアムについては、今後色々なところとの連携や発信が大事になる。ぜひ成功へ向けて欲しい。
評価内訳	
①妥当 4 ②概ね妥当 0 ③要検討 0	

※2：委員会評価は、令和4年度まち・ひと・しごと創生寄附活用事業全体に対する評価

※3：取組事業が事業の目標・KPI達成するために、「①妥当である」、「②概ね妥当である」、「③検討を要する」